

2019年度 4年次 振り返り

- 目的： 1. 看護専門職業人としての基礎的な知識・技術・態度を修得する。
2. 対象に応じた看護を展開できる。

目標	達成状況（アンケート結果：38人配布、30人回収）と 評価	
	4：達成できた 3：まずまず達成できた 2：少し達成できた 1：達成できなかった	
1. 自己の看護観を明確にできる。	4：3人 3：20人 2：7人 1：0	実習での学びを積み重ね、考えを深めていくことができ、7割以上の学生が看護観が明確になったと答えている。また、看護観を深めていく過程で自己の課題も感じており、自己を見つめながら学習できていたと考える。
2. 対象に応じた看護を科学的根拠に基づき実践できる能力を養う。	4：2人 3：23人 2：5人 1：0	3年次までの学習した内容と照らし合わせ、実習で一つ一つ丁寧に学習し、知識が実践に繋がるよう指導した。対象に合った援助を実践していくには、援助の根拠を明確にすべきことを認識することができ、8割以上の学生が目標達成できたと答えている。
3. 保健・医療・福祉のチームの一員として多職種との調整及びリーダーシップがとれる能力を養う。	4：3人 3：11人 2：16人 1：0	実習で多職種の中での看護師の役割りについて考えるよう指導し、退院前カンファレンスへの参加や多職種協働の場をみることで、多職種連携を理解することができた。しかし、自らがリーダーシップをとることに對して課題に感じている学生が多く、5割の学生が目標達成があまりできていないと答えている。
4. 社会人として自律し、看護の専門職業人として生涯学習が続けられる態度を身につける。	4：5人 3：21人 2：4人 1：0	実習で日々自己学習したことを看護に活かす体験をしたことから、8割以上の学生が身に付いたと答えている。3年間の机上学習を4年次に活用していく過程で学習の必要性を実感し、また看護の専門職としての役割りを知ることができ、生涯学習の必要性を感じたと考える。
5. 看護師国家試験に合格できる学力を身につける。	4：6人 3：20人 2：4人 1：0	日々の学習の大切さを指導し、4月から国家試験対策として、実習と並行し模擬試験や補講を実施した。模擬試験をもとに支援が必要な学生を抽出し長期休業中、実習終了後に学習会を行った。 109回看護師国家試験の結果は、100%合格であった。
6. お互いを認め、高め合える行動ができる。	4：7人 3：19人 2：4人 1：0	クラス全体での協力ができていない場面が多かった。しかし、実習グループでの協力を通し、いろいろな人がいること、認め合っていくことを体験し、国家試験の学習でも教え合うことで、8割以上の学生が行動できたと答えている。